

Lesson 17 名詞節

§17-1 従属節の枠組み (再録)

・文が、単に文であるだけでなく、全体として名詞、形容詞、副詞の働きをすることがあります。

・名詞、形容詞、副詞の働きをする文を従属節といいます。

1. 名詞の働きをする文を名詞節と呼び、[四角いカッコ]でくくることにします。
2. 形容詞の働きをする文を形容詞節と呼び、(丸いカッコ)でくくることにします。
3. 副詞の働きをする文を副詞節と呼び、<三角のカッコ>でくくることにします。

・文を従属節にするには次のどちらかの手順を踏みます。

- (1) 従属節を作る語を文の前に付ける。
- (2) 従属節を作る語を文の中で文の要素 (=主語、動詞の目的語、前置詞の目的語、補語、修飾要素) として用いる。

(1)のタイプの従属節を作る語の代表は従属接続詞です。

(2)のタイプの従属節を作る語の代表は関係詞と疑問詞です。

When I called on her, she was playing the piano.

私が彼女を訪ねたとき、彼女はピアノを弾いていた。

I have an American pen pal who can write letters in Japanese.

私には、日本語で手紙を書けるアメリカ人の文通友達がいる。

She asked me what she should do.

彼女は私に自分は何をすべきか尋ねた。

§17-2 名詞節の働き

- ・名詞の働きは「主語、動詞の目的語、前置詞の目的語、補語 / 同格、副詞的
目的格」です。
- ・名詞節は、このうち、副詞的目的格を除いた、すべての働きをします。
- ・すなわち、**名詞節の働きは「主語・動詞の目的語・前置詞の目的語・補語・
同格」**です。
- ・名詞節は[四角いカッコ]でくくります。

(ザット シー ワンス リヴド イン ランドン イス トルー)

That she once lived in London is true.

彼女が昔ロンドンに住んでい
たというのは本当だ

(タイム ウィル ショウ フー イス ライト)

Time will show who is right.

時がたては誰が正しいかわか
るでしょう。

§17-3 名詞節を作る語

- ・名詞節を作る語は次の5つです。

1. 従属接続詞の **that, if, whether**
2. 疑問詞・感嘆詞
3. 関係詞の **what**
4. 関係詞 **ever** (関係詞の末尾に **ever** が付く語で、正式には「複合関係詞」といいます)
5. 先行詞の省略された関係副詞

§17-4 従属接続詞が作る名詞節

- ・従属接続詞は完全な文 (= 主語、動詞の目的語、前置詞の目的語、補語の点で足りない要素がない文) の前に付いて、その文を副詞節か名詞節にする働きをします。
- ・副詞節を作る従属接続詞は従属接続詞のすべてです。
- ・名詞節を作る従属接続詞は **that, if, whether** の3つです。

[that S+V] ⇒ SがVする(という) こと

[if S+V] ⇒ SがVするかどうか(ということ)

[whether S+V] ⇒ SがVするかどうか(ということ)

- ・従属接続詞は内側では何の働きもしないので、従属接続詞の後に続く S+V は完全な文 (= 主語、動詞の目的語、前置詞の目的語、補語の点で足りない要素がない文) でなければなりません。

- ・[that S+V]は「主語・動詞の目的語・前置詞の目的語・補語・同格」のどれにもなれます。
- ・[that S+V]が動詞の目的語になっているときは **that** を省略できます。
- ・[that S+V]が前置詞の目的語になっているときは、**in, except, but, save** 以外の前置詞は省略しなければいけません。

- ・[if S+V]は「動詞の目的語」か「真主語」にしかできません。
- ・[if S+V]は主節が否定文のときは使えません。
- ・**or not**をつけるときは[if or not S+V]は不可で、[if S+V or not]なら可ですが、稀です。

- ・[whether S+V]は「主語、動詞の目的語、前置詞の目的語、補語、同格」のどれにもなれます。
- ・**or not**をつけるときは[whether or not S+V]も[whether S+V or not]も可です。

【ザット シー ワンス リヴド イン ランドン イズ トルー】

That she once lived in London is true. 彼女が昔ロンドンに住んでいたというのは本当だ。

【イト イズ トルー ザット シー ワンス リヴド イン ランドン】

It is true that she once lived in London. 彼女が昔ロンドンに住んでいたというのは本当だ。

【アイ サスベクティド ザット ゼア ハッド ビン アン ナクシデント】

I suspected that there had been an accident. 私は事故があったのではないかと思った。

【アイ スィンク イト ライクリ ザット ヒー ディド ザ ワーク バイ ヒムセルフ】

I think it likely that he did the work by himself.

私は彼がその仕事を一人でやったということはありそうだと思う。

【ザ ニュース ザット ヒズ ヤット ワズ ミスィング ワズ ア グレイト シャック トゥハー】

The news that his yacht was missing was a great shock to her.

彼のヨットが行方不明だという知らせは彼女には大きなショックだった。

【アイム シュア ザット シール カム】

I'm sure that she'll come. 私はまちがいなく彼女は来ると思っている。

17-B 26'54"

(ハー ルーム イス ヴェリ ナイス イクセプト ザット イト イス ラザ トゥー
スモール)

Her room is very nice except that it is rather too small.

彼女の部屋は、少し狭すぎる点を除けば、とてもいい

17-C 00'00"

(テル ミー イフ ユア カミング)

Tell me if you're coming.

あなたが来るかどうか教えてください

Tell me if you're coming.

もしあなたが来るなら教えてください

(エヴリスィング ディペンズ アン ウェザ イト イス ファイン トゥマロウ)

Everything depends on whether it is fine tomorrow.

すべては明日晴れるかどうかにかかっている。

(アイ ワンダ ウェザ オー ナット メアリ ガット マリッド)

I wonder whether or not Mary got married.

私はメアリーが結婚したかどうか知りたい

→ メアリーは結婚したのだろうか。

(ウェザ ヒー イス リッチ オー ナット ダズ ナット マタ)

Whether he is rich or not does not matter.

彼が金持ちかどうかは重要ではない。